

平成 27 年度 生理学研究所 研究会

「シナプスの構造構築と機能発現の分子基盤」

生理学研究所 (明大寺地区) 1 階 大会議室

代表者: 植村 健 (信州大学 学術研究院医学系 分子細胞生理学教室)

所内対応者: 深田 正紀 (生理学研究所 生体膜研究部門)

6月18日 (木)

12:20	開会挨拶 植村 健 (信州大学 学術研究院医学系 分子細胞生理学教室)
座長	植村 健 (信州大学 学術研究院医学系 分子細胞生理学教室)
12:30	Ca ²⁺ シグナリングと脳高次機能制御 尾藤 晴彦 (東京大学大学院医学系研究科 神経生化学分野)
13:30	電位依存性 Ca ²⁺ チャネルの脳高次機能における役割の解明 中尾 章人 (藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 システム医科学研究部門)
14:30	網膜におけるアクティブゾーン構成タンパク質 CAST/ELKS のシナプス形態及び機能に対する作用機序 萩原 明 (山梨大学 医学部 生化学講座第一教室)
15:30	コーヒーブレイク
座長	服部 光治 (名古屋市立大学大学院薬学研究科 病態生化学分野)
15:45	スプライスインサートによるシナプスオーガナイザーの選択的相互作用調節の構造基盤 深井 周也 (東京大学放射光連携研究機構 生命科学部門)
16:45	新規 Clq ファミリー分子を介する小脳シナプス回路形成・機能制御機構 掛川 渉、柚崎 通介 (慶應義塾大学医学部 生理学 I 教室)
17:45	逆行性シグナルによる発達期シナプス刈り込みの制御 上阪 直史 (東京大学大学院医学系研究科 神経生理学教室)
19:00	懇親会 於生理研棟 1F セミナー室

6月19日 (金)

座長	大塚 稔久 (山梨大学 医学部 生化学講座第一教室)
8:30	ショウジョウバエのシナプス間隙に局在するマトリックスタンパク質 Hig と Hasp が示すコンパートメント形成と機能 中山 実、浜 千尋 (京都産業大学 総合生命科学部)
9:30	側坐核中型有棘細胞スパインに対するドーパミン報酬作用 柳下 祥 (東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 構造生理学部門)
10:30	コーヒーブレイク
座長	深田 正紀 (生理学研究所 生体膜研究部門)
10:45	アルツハイマー脳における老人斑形成とシナプス活動 橋本 唯史、若林 朋子、岩坪 威 (東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野)
11:45	各種精神疾患と AUTS2 遺伝子、そしてヒトの進化 星野 幹雄 (国立精神神経医療研究センター 神経研究所)
12:45	閉会挨拶 深田 正紀 (生理学研究所 生体膜研究部門)
